

渥美郷土資料館

企画展

第33回

ひな祭り展

この地域に飾られるひな人形は、時代ごとに姿を変えてきました。明治時代から大正時代にかけては、素朴な土人形から男びな、女びな一対の衣裳飾りの親王飾りひな人形に移り変わります。さらに、大正末頃には、御殿飾りのひな人形が親しまれるようになります。そして、日本が豊かになっていった昭和30年代後半から豪華な段飾りが一般的になっていきました。第33回となる本展では、時代と共に変化していくひな人形の様式から当時の人々の暮らしや風俗に思いをはせることのできる展示となっています。

また、今年も県立福江高等学校手芸食物部生徒制作の押し絵びな、田原風保存会の初凧も展示します。



段飾り 昭和37(1962)年



土人形
(鯛抱き恵比寿)



押し絵ひな
高砂(翁・嬪)

2月1日金→3月17日日

場 所 ● 田原市渥美郷土資料館

開館時間 ● 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 ● 月曜日(月曜日が休日の場合は、その翌日)

観覧料 ● 無料

県内の博物館・資料館などをめぐる
ひなまつりスタンプラリー

景品有(先着順)

【実施期間】2月2日(土)～3月10日(日)
【参加館】渥美郷土資料館、田原市博物館、豊橋市二川宿本陣資料館、商家「駒屋」(豊橋市)、蒲郡市博物館、幸田町郷土資料館など、34館

福江*つるし飾りロード

観覧無料

期間中、まちなか博物館におひなさまが展示される他、福江地区のまちなかにつるし飾りなどが展示されます。

(制作:福江保育園児、福江・清田小学校児童、福江中学校生徒他)

【展示期間】

2月16日(土)～3月21日(木・祝)

ワークショップ「貝のおひなさまをつくろう」



渥美半島の海で拾ってきた貝を使って、手のひらサイズのかわいいおひなさまを作ります。

【日時】2月16日(土)

第1回 ● 午後1時～ / 第2回 ● 午後2時～

【会場】渥美郷土資料館 【材料費】300円

【定員】各回10名程度(先着順に受付)

田原市渥美郷土資料館 ☎33-1127

参加者募集!!【要予約】

着物を着て
おひなさま気分になろう

3月3日(日)

午前9時30分～午後4時

渥美郷土資料館

対象 ● 3歳～小学6年生

参加料 ● 無料 定員 ● 30名

申込み ● 2月10日(日)までに、田原市博物館(☎22-1720)にお申し込みください。

申し込み多数の場合は抽選。

展示会場内で
かわいい着物を着て、
おひなさま気分を
体験しよう!



同時開催
描かれた
女性と子ども
特別展示室

初凧(源義経)

田原まちなか雛祭りめぐり 観覧無料

はなとき通りから田原駅前通り線沿いの田原のまちなかの店舗に、さまざまなお雛様やつるし飾りなどが展示されます。
【展示期間】2月2日(土)～3月3日(日)



田原市博物館 ☎22-1720

http://www.taharamuseum.gr.jp

田原市博物館 平常展

ひな人形と 初凧展

—女の子の節句・男の子の節句—



親王飾り
明治22
(1889)年

2月9日土→3月24日日

場 所 ● 田原市博物館企画展示室1

開館時間 ● 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 ● 月曜日(月曜日が休日の場合は、その翌日)

観覧料 ● 一般210円(160円)、小中学生以下無料

※()は20名以上の団体料金 / 毎土曜日は高校生も無料

主催 ● 田原市博物館、田原風保存会